

2021年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年6月11日

上場会社名 株式会社イトクロ 上場取引所 東
 コード番号 6049 URL <https://www.itokuro.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 CEO (氏名) 山木 学
 (役職名) 代表取締役 COO (氏名) 領下 崇
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 CFO (氏名) 佐藤 大輔 TEL 03-6910-4537
 四半期報告書提出予定日 2021年6月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年10月期第2四半期の業績（2020年11月1日～2021年4月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年10月期第2四半期	2,375	—	962	—	962	—	612	—
2020年10月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年10月期第2四半期	29.24	29.20
2020年10月期第2四半期	—	—

（注）当社は、2020年10月期第2四半期は連結業績を開示しておりましたが、2020年10月期第4四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、2020年10月期第2四半期の経営成績（累計）及び対前年同四半期増減率については記載していません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年10月期第2四半期	9,787	8,952	91.3
2020年10月期	8,901	8,340	93.6

（参考）自己資本 2021年10月期第2四半期 8,940百万円 2020年10月期 8,328百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年10月期	—	0.00	—	—	—
2021年10月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年10月期の業績予想（2020年11月1日～2021年10月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,620	19.6	1,520	33.3	1,520	32.5	978	208.0	46.74

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年10月期 2 Q	22,680,000株	2020年10月期	22,680,000株
② 期末自己株式数	2021年10月期 2 Q	1,737,721株	2020年10月期	1,737,721株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年10月期 2 Q	20,942,279株	2020年10月期 2 Q	20,941,512株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期貸借対照表	P. 3
(2) 四半期損益計算書	P. 4
第2四半期累計期間	P. 4
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	P. 5
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	P. 6
(継続企業の前提に関する注記)	P. 6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 6
(セグメント情報等)	P. 6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、前事業年度末より四半期財務諸表を作成しているため、前年同四半期累計期間との比較分析は行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、国際情勢の不安定により先行きは依然として不透明な状況となっています。また、新型コロナウイルス感染拡大により国内経済は急速に悪化し、その後段階的な経済活動の再開がみられるものの、2021年1月と4月には緊急事態宣言が再度発出されるなど新型コロナウイルス感染症が国内景気や企業収益に与える影響については、先行き不透明な状況が続いています。このような経済状況の中、当社では教育業界を主要業界としてメディアサービスを通じて企業価値の向上に取り組んでまいりました。

当社が事業展開する主要マーケットの1つである教育業界では、個人向けを対象としたeラーニングや映像配信講座と個別指導を組み合わせた学習サービス、また難関校の進学に特化したサービスを提供する個別指導塾の増加、企業のグローバル化に合わせた語学学習ニーズの増加、新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインによる集客の重要性のさらなる高まりやチラシやイベントにおける広告予算のWEBへの移行の加速等を背景に、効果的且つ効率的なマーケティング手法へのニーズの高まりにあわせ、インターネット広告への出稿比率が増加しております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は2,375,364千円、営業利益は962,719千円、経常利益は962,799千円、四半期純利益は612,306千円となりました。

なお、当社はインターネット・メディア事業の単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は9,787,154千円となり、前事業年度末に比べ885,972千円増加いたしました。主な内訳は、現金及び預金が764,217千円増加、売掛金が121,942千円増加した一方、のれんが41,406千円減少したことによるものであります。

負債は835,131千円となり、前事業年度末に比べ274,008千円増加いたしました。主な内訳は、未払法人税等が308,241千円増加、流動負債のその他に含まれる前受金が61,921千円増加した一方、流動負債のその他に含まれる未払金が72,050千円減少したことによるものであります。

純資産は8,952,022千円となり、前事業年度末に比べ611,963千円増加いたしました。これは主に利益剰余金が612,306千円増加したことによるものであります。なお、自己資本比率は91.3%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末より1,764,217千円増加し、5,020,502千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動による資金の増加は804,694千円となりました。主な資金増加要因としては、税引前四半期純利益962,799千円の計上、のれん償却額の計上41,406千円によるものであります。これに対して主な資金減少要因として、売上債権の増加121,942千円、未払金の減少72,050千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動による資金の増加は972,616千円となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入1,000,000千円、有形固定資産の取得による支出19,728千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動による資金の減少は13,093千円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出12,600千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年10月期の業績予想につきましては、2020年12月11日付の「2020年10月期 決算短信」で公表いたしました業績予想に変更ありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年10月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,558,004	8,322,221
売掛金	409,444	531,387
その他	46,932	60,422
貸倒引当金	△721	△610
流動資産合計	8,013,661	8,913,420
固定資産		
有形固定資産	202,020	216,863
無形固定資産		
のれん	445,447	404,040
その他	—	2,650
無形固定資産合計	445,447	406,690
投資その他の資産	240,052	250,179
固定資産合計	887,520	873,733
資産合計	8,901,181	9,787,154
負債の部		
流動負債		
買掛金	174,469	123,883
1年内返済予定の長期借入金	20,600	8,000
未払法人税等	48,079	356,321
その他	261,896	278,368
流動負債合計	505,046	766,572
固定負債		
資産除去債務	51,026	52,627
その他	5,050	15,930
固定負債合計	56,076	68,558
負債合計	561,122	835,131
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	2,633,859	2,633,859
利益剰余金	5,696,659	6,308,966
自己株式	△32,430	△32,430
株主資本合計	8,328,089	8,940,395
新株予約権	11,969	11,626
純資産合計	8,340,059	8,952,022
負債純資産合計	8,901,181	9,787,154

(2) 四半期損益計算書

(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)
売上高	2,375,364
売上原価	254,135
売上総利益	2,121,228
販売費及び一般管理費	1,158,509
営業利益	962,719
営業外収益	
受取利息	357
その他	118
営業外収益合計	476
営業外費用	
支払利息	396
営業外費用合計	396
経常利益	962,799
税引前四半期純利益	962,799
法人税、住民税及び事業税	355,615
法人税等調整額	△5,122
法人税等合計	350,493
四半期純利益	612,306

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	962,799
減価償却費	12,795
のれん償却額	41,406
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△110
受取利息及び受取配当金	△357
支払利息	396
売上債権の増減額 (△は増加)	△121,942
仕入債務の増減額 (△は減少)	△50,586
未払消費税等の増減額 (△は減少)	42,780
未払金の増減額 (△は減少)	△72,050
未払費用の増減額 (△は減少)	△5,710
その他	42,685
小計	852,106
利息及び配当金の受取額	357
利息の支払額	△396
法人税等の支払額	△47,373
営業活動によるキャッシュ・フロー	804,694
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の払戻による収入	1,000,000
有形固定資産の取得による支出	△19,728
敷金及び保証金の差入による支出	△5,837
敷金及び保証金の回収による収入	552
その他	△2,368
投資活動によるキャッシュ・フロー	972,616
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△12,600
リース債務の返済による支出	△493
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,093
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,764,217
現金及び現金同等物の期首残高	3,256,285
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,020,502

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、インターネット・メディア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。